



## 敷地の特徴をよく知る

### ■市街地

- ①可能な限り隣地とは一定の空きを確保して、防災に配慮する。
- ②敷地周辺に可燃性の高い工作物等は設置しない。
- ③プランバシー確保を図りつつ、視認性を高めて防犯上の注意を行う。
- ④木造の場合は外壁や屋根・軒裏等の防火性能を高める。
- ⑤比較的通風が悪いことから、木造の場合は特にシロアリ対策を強化する。
- ⑥光の取入れが難しい場合、中庭や吹き抜けを設けるなどの工夫が必要になる。

### ■郊外地

- ①隣地とは一定の空きを確保して、窮屈感を和らげる。
- ②南側に庭などの屋外空間を確保する。
- ③周辺環境や景観に配慮した計画を心がける。
- ④敷地廻りに植栽を行って、涼風を引き入れる。



■市街地の例



■郊外地の例



## 理想的な部屋の配置は？

### ①リビング

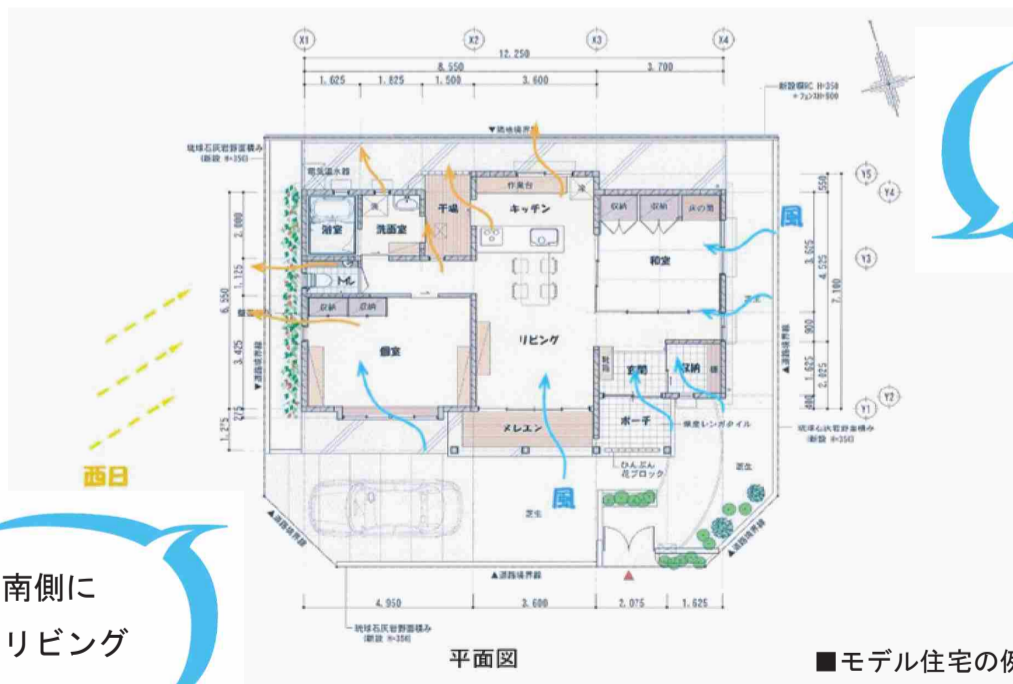
リビングは、他の部屋に比べて広くスペースをとり、オープンな空間にする。常時自然光を取り入れ、夏の涼風を取り入れることが求められていることから、南側に配置して開口部を大きく取ることが大切。

### ②キッチン

キッチン(台所)は風通しのよい場所に配置し、食材の保管に条件の悪い西日が直接差し込まないような工夫が必要。

### ③浴室・洗面・洗濯干場

水廻りをどの位置に配置するかは重要である。居間は日当たりがよく、風が通る位置への配置が望ましいのですが、浴室・洗面・洗濯干場については、必ずしも条件のよい位置ではなく、むしろ北側あるいは西側に配置したほうが良いと思われる。





## 日射を遮る

沖縄は平均気温は22.5℃程度で四季の温度差が少なく、室内外の温度差も低いため、寒冷地のように建物を包み込むような断熱を行う必要はありません。

むしろ直接日射を遮る「日射遮蔽」と日射熱を遮る「遮熱外皮」が有効です。

遮熱を行う部位は外壁や屋根、開口部などが対象となり、方法としては雨端や庇、ルーバー、花ブロック、壁面緑化、ネット緑化、簾、袖壁の設置、瓦屋根、屋上への遮熱ブロック、屋上緑化砂利敷き、遮熱塗料の塗布、通気層を設けた外壁仕上げの採用などがあります。

これらの方法は、敷地の状況や周りの環境、予算などとの関連を視野に入れて適切に選択する必要があります。



■屋上緑化



■花ブロック



■花ブロック

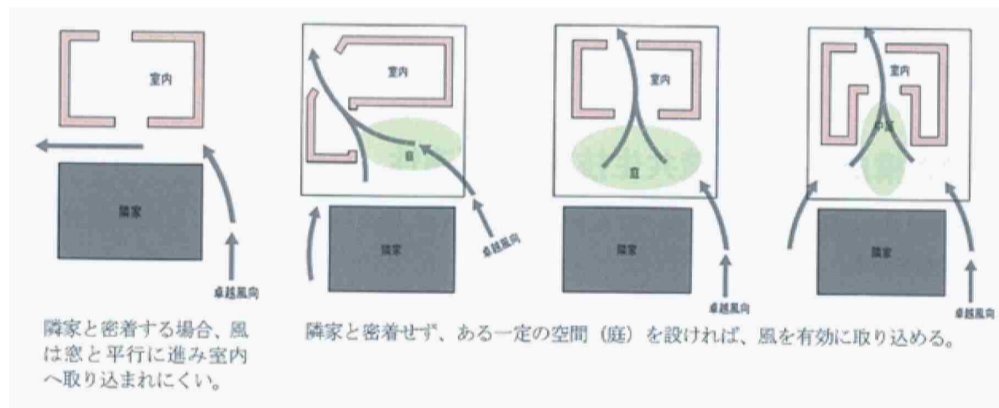


## 涼風を室内に呼び込む

敷地内で住宅の配置を検討する場合は、**南側に庭**などの外部空間を確保して**建物を北側に寄せる**ことが基本である。

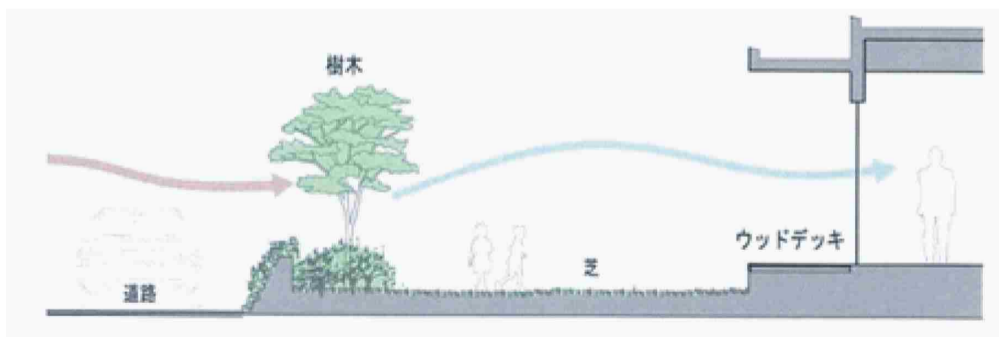
このことで、夏は南側の風の通りを良くし、太陽高度が低くなっても隣地の建物によって太陽光が遮られないため、冬は昼間の熱（日射）を積極的に室内に取り入れることが出来る。

そして、外廻りに芝生などを植栽して地面からの輻射熱を和らげることで涼風を呼び込むことが出来る。



### ■通風のためのスペース

「平成 22 年度沖縄地域における環境共生住宅推進事業」  
沖縄県土木建築部住宅課



### ■外構の工夫による日射対策

「平成 22 年度沖縄地域における環境共生住宅推進事業」  
沖縄県土木建築部住宅課



## 直射日光を遮りながら 光を取り入れる

夏、強烈な日差しを直接室内に取り組むと、室温の上昇や仕上げ材等の劣化などが懸念される。

そこで、具体的な方法で直接日光を遮り、あるいはコントロールする事が大切である。

### ①雨戸を設ける

ガラリ付き雨戸を設けることで、室内に差し込む直接日光を防ぎつつ室内にほのかな光を取り入れることができる。

### ②障子戸を設ける

障子を通して室内に柔らかい光を導くことができる。

さらに、障子戸の開閉によって日照調整を行うことができる。

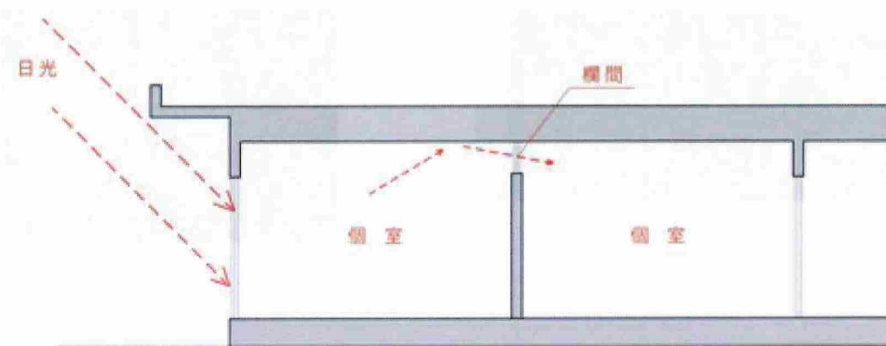
### ③ブラインド、カーテン

窓からガラス越しに室内に入る日射量をブラインドやカーテンでコントロールすることは、快適な室内環境を維持する効果がある。

### ④欄間

採光条件の悪い部屋に欄間を設けることで外からの採光が入る。

また、開閉可能な欄間にする事で風をコントロールすることができる。



■欄間



## 結露を防ぐ

暖かく湿った空気が壁などの冷たい表面に触れると結露ができます。  
夏は、窓を開けた際に外部の高温の空気がエアコンで冷えた RC 躯体面に触れて結露が起こる。

### ①屋上緑化に伴う躯体の結露対策

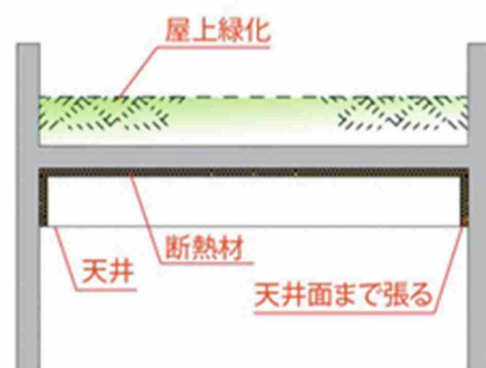
屋上緑化を行うと、蒸散作用でコンクリート躯体の温度が下がる。  
そのため、室内との温度差でスラブ下端と天井近くまで断熱材などを貼る方法が最適である。

### ②RC壁

外壁外側に仕上げを行い、その間に通気層を設け、室内側の仕上げには漆喰や珪藻土を用い、躯体面に密着させる。

### ③木造壁

RC 壁同様、外壁外側に仕上げを行い、その間に通気層を設け、透湿断熱シートを張って外部からの熱を遮断し、結露を生じる条件を絶つ。



■屋上緑化に伴う躯体の結露対策



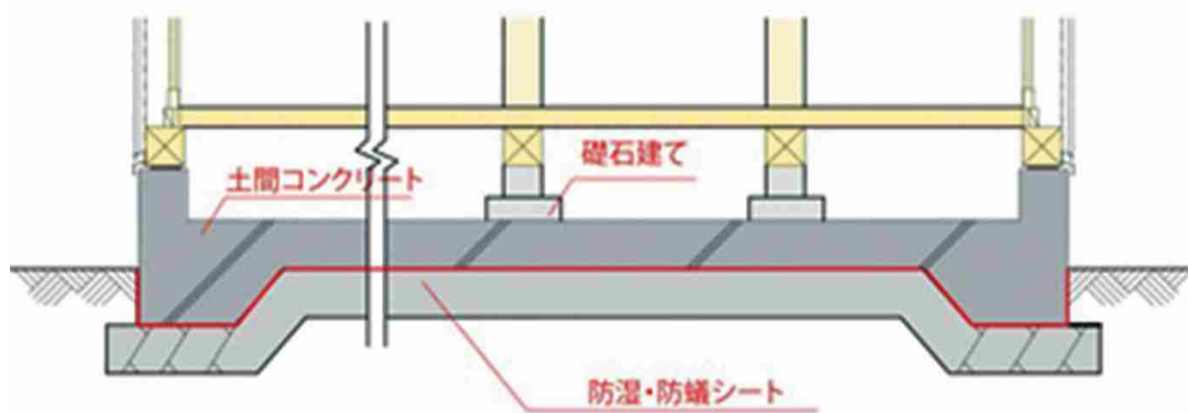
## シロアリ対策

シロアリの被害は、木材のみならず、断熱材、柔らかい金属、電気ケーブル、書籍などに及ぶ。

シロアリの特徴として主に以下の点が挙げられる。

- ・暗がりを好む
- ・湿気を好む
- ・光を嫌う
- ・風を嫌う
- ・触覚が触れないと前に進めない

シロアリの特徴をおさえ、木材が湿気を含みにくい状態を保つことで、建物の耐久性を確保することが出来る。



■防湿・防蟻シートの使用 / 床下に布基礎を設けない